

6月議会 一般質問（加藤鉦一議員） 鷺畑山古墳の調査前に進めよ 県に相談し最善の方法を考えていきたい

鶴岡市議会6月定例会一般質問で16日、加藤鉦一議員は、①鷺畑山古墳1号発掘調査、②藤島児童館の児童数の急増対策について質問をおこないました。

並々ならぬ熱意と郷土愛の賜物



加藤鉦一議員は、これまでの鷺畑山古墳をめぐる経過と2回の発掘調査について、市教育委員会はその意義をどうとらえているのかを質しました。

11年度に県が調査

長谷川貞義教育部長は次のように答えました。

「これまでの経過は、藤島の添川地区にある鷺畑山古墳群について、ふじの里地区東部の中山間地域総合整備事業の関連で平成11年度に県教育委員会が調査をおこなっている。調査は現地確認と表面調査がおこなわれ、



その結果周辺に4つの墳丘が確認され、新規発見遺跡として登録されたものである。

その後の調査では、旧藤島町教育委員会が14年度に民間測量会社に委託し鷺畑山古墳1号の測量調査をおこない、15年度に2号と3号、17年度に大西山古墳をそれぞれ東北芸術工科大学に委託し、測量調査をおこない報告書が作成されている。

民間の発掘調査会

この度の民間による調査では東田川文化記念館郷土研究サークルと庄内考古学会を主体として鷺畑山古墳1号発掘調査会を立ち上げ、県の文化財担当課に埋蔵文化財発掘の届け出をした後、昨年9月14日から23日までと、本年5月29日から6月2日までの2度にわたって発掘調査をおこなった。

確率が高まったものと

考えられる。」

埋蔵文化財調査は開発に伴うもの

加藤鉦一議員は、「学術調査を前に進めるための課題と対策」について質し、教育部長は次のように答えました。

「通常、市でおこなっている埋蔵文化財調査は開発に伴うものが主で、近年本市では学術調査をおこなっておらず、近隣自治体においても国等の史跡指定に伴う調査はあるものの、市町村がおこなう学術調査はまれである。

各分野の専門家を 入れた検討委員会

学術調査ということになれば、発掘調査の前に様々な検討が必要となる。

一つ一つの古墳だけではなく、広域的な周辺環境の調査により植生や気候等の自然環境、文献に残された歴史の研究や遺跡の学術的な位置づけの確認、測量や土質調査などを実施することとなる。

そのため考古学分野だけでなく、植生、気候、地学、歴史、理学などの各専門分野の方々の協力が必要であり、専門家を入れた調査検討委員会の設置も必須となる。

市が学術調査をおこなうのは難しい

遺跡自体の調査方法については、発掘調査とは別に物理探査等の地面を掘らない調査も

あり、将来的に開発等による破壊の心配のない地域であるので、墳墓本体にはさわらず、掘らない方法も念頭に調査方法の検討が必要である。

このように学術調査には周到な事前準備や体制整備、多額の経費もかかることから、市が直接、学術調査をおこなうことは難しいと考えている。

今後の調査については、発掘自体が埋蔵文化財の破壊を伴うものであることから、県の文化財担当課に相談し、最善の方法を考えていきたい。

胎内市の古墳調査

新潟県胎内市の『城の山古墳』については、ほ場整備により発見され、副葬品等も出てきたことから、この部分のは場整備をやめて古墳の発掘をし、古墳として残すことにしたと



胎内市の城の山古墳

加藤鉦一議員は、「学術調査を前に進めるには、県の関わりが重要となり、市のバックアップ体制を強く求めたい」と述べました。（藤島児童館は次頁へ）

藤島児童館の耐震化工事が課題

加藤鉦一議員の一般質問で

(前頁から続き) 加藤

鉦一議員は藤島児童館の登録児童数の急増対策を求めました。

今野和恵健康福祉部長は、「藤島児童館の登録児童数は現在142人で、いなば学園に委託される平成23年度以前の60人から年30%前後の伸びを示している。

25年度当初、登録児童数が100人を超えることが予想されたため、クラブを2つに分割した。

国のガイドラインでは40人規模が適正とされている一方で、1クラブの年間の児童数が36人を下回った場合は国庫負担の水準が大きく減少することから、基準をクリアすることを前提にクラブの分割を進めていくことが適切である。」と答えまし

た。

また、藤島児童館の耐震化について質したのに対し、健康福祉部長は「築35年の木造2階建ての建物で、途中

「看取(みと)りは特別なことでなく、普通の生活の先にあるんだよ。長い人生を無時に終えてもらえるよう、一緒に見守り、支えよう」
—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

しんぶん赤旗6月1

日付、読書欄「本と人と」に登場、最近『家



しんぶん赤旗6月1日付

遊戯室の増築や内部の改修はおこなったものの、耐震化工事はおこなわれていない。
現在雨漏りや外壁等の不具合も出ていることから、これらへの対応と合わせ関係課と協議をし検討してく」と答えました。

族と迎える「平穏死」

を出版した特別養護老人ホーム常勤医師である

石飛幸三さんの言葉である。肉親の最後に立ち会った経験がない若いスタッフに「看取りが怖い」と打ち明け

植えられて田の隅密に余り苗

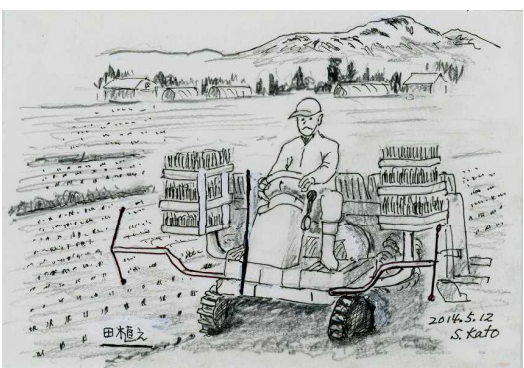
工藤 博司

「余り苗」は、苗代から運び出された苗が、一通り植えられ、それ以上に余った苗のことである。「余り苗」は、まとめられて、畦に捨てられている場合もあるが、田の隅にまとめ水に漬けられていたりする。

ていねいな家では、手植で、やはり田の隅にかけて、普通よりは列を増やしたり、混ぜせたりして植えられている。

とりわけ田の隅っこには、密に植えられた苗が青々と風に吹かれ

ている姿は清々しい。田仕事をはじめまる頃は、もう日の出前から、人々の姿が点々と野に見ることが出来るが、早朝から野に出る人々は例外なく農業にたずさわる人々である。

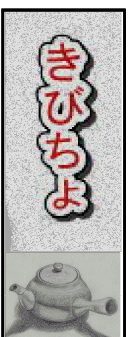


(画・加藤貞雄)

られた時の言葉である。

私は不幸なのか、両親の看取りも出来ず、死などという認識もない小学3年の時、母方の祖父の死を枕元でジツと見守っただけなので看取りの経験がない。しかし齢もそれなりになったので看取られる方に関心が向く。しかし最近、看取る方も看取られる方も一緒にやないかと思うようになり、この言葉に目が留まったというわけである。

9年間の体験をもと



翼もブットビそうな強行着陸

先号で、彼の党がどんなことで軟着陸するかナンテ言つてられない、としたのでした。

▼かつては苦渋の決断とか申しながら自民党の思うところへ軟着陸して大臣の椅子1つを守ってきたんですが、今回は翼もブットビそうな強行着陸と言うべき状況でしょう。

▼40数年前のお話の1節を捜し出してまで今の平和を壊したいんですかネー。その後平和や戦争とかでは注目されなかつたものですよ。

▼憲法九条に穴を開けて戦争をする国になるってことですよ。これで平和の党で売り続けられるんですか。

▼注目していた国民はもとより、支持母体と言われている学会の皆さんは、これを認めるんですでしょうか。

に「肉親を看取る前に知つてほしい心構え」をまとめた。老いという自然の道に医療がどこまで必要か。胃に管で栄養を入れる胃瘻(いろろう)の是非や栄養量の調節など「医療を加減することに着目し、その人自身の生命力に基づいて自然な最期を迎えることを説く。かけがいのない人を亡くすのは悲しく、もつと生きてと思う。しかし、「どうしたら穏やかな最期を迎えられるか」が大切という。

▼木に竹を接いだようなもの自民党幹事長が言つてるようですが、首相はアーゆつくりしたと喜びの乾杯というところでしょうや。

▼ここを許したからと自民党、また新しいものを投げかけましたデスナー。それはそうなるでしょ。手をつないでいた者同士がこま許したんだから次は当然のこと。

▼国会での議論なしでドンドン戦場が近くなっている感じです。国民の反対の動きはマスコミに多くは出ません。NHKから批判めいたことはありましたか。

▼首相は勢いづいていきますヨ。どこの国かは知りませんが、機雷を片付けるために出かけていきたいと言いましたアス。

▼与党は3年間、国民の審判、選挙がないというところで大股でお通りですが、許せませんです。(石川)